

阿波連の浜下り（渡嘉敷）

「浜へと下る」を意味する沖縄の言葉、浜下りは、旧暦 3 月 3 日に行われる女性の祭事を指して使われることがあります。沖縄の女性はこの日に浜へ下り、海に浸かって身を清めることにより、健康を祈って病を癒します。この祭事は、アカマタが人間に化けた妖怪の子を身籠った高貴な女性が、海に浸かってその子を流したという伝説に由来しています。

DESIGNER: Build in this link to Akatama

<http://www.vill.tokashiki.okinawa.jp/gaiyou/gaiyo/minwa/アカマターと浜下り（はまおり）>

阿波連の浜下りは、沖縄で見られる類似の祭りとは異なるものです。阿波連ビーチから海へ入る代わりに地元の女性たちは船に乗り、数百メートル沖の無人島、ハナリ島へと渡ります。この慣習は、祝女のチンベーの伝説に由来しています。チンベーは首里城から久米島へ戻る途中で嵐に会い、ハナリ島に避難しました。知らせを聞いた村民たちは、この名高い客人を慰めるために食べ物や飲み物を用意して島に渡った、とされています。

DESIGNER: Build in this link to Hamauri

<http://www.vill.tokashiki.okinawa.jp/gaiyou/gaiyo/minwa/君南風と浜下り>

かつては、女性のみがこの行事に参加してハナリ島へ渡っていました。到着すると女性たちは祈りを唱え、男性らが用意した刺身を食べ、酒を飲みました。時代とともに薄れてきており、浜下りには宗教的な意味合いはほとんどありません。古い祈りは忘れられ、男性や外部の人間でさえも参加するようになり、行事は家族で楽しむものになりました。船で、誰でも湾を超えられます。そして地元の漁師が並べた魚やイカの大鍋で、ピクニックを楽しんでいます。